

「当たり前」の告知を、どれほどしているか？

この連載では、消費者との認識のギャップの大きさ、そしてそれがクリーニングが利用されない根本的な原因になっていることを、繰り返しお伝えしています。

その中でも、特に大きいのは「今の消費者にとって、そもそもクリーニングに出す」という選択肢が存在していないという点です。僕は「当たり前」にクリーニングするものでしょ」という認識が、ありますが、ほとんどの消費者の頭の中には存在していません。

あの頃の消費者はもういない

(37)



洗濯家 中村 祐一

近くでクリーニング店を探して持ち込むようアドバイスしました。すると返ってきた言葉が、「普通のTシャツって、クリーニングに出してもいいんですね」というものでした。数日後、その方から再び連絡があり、そこには、近くのクリーニング店に持って行ったところ、Tシャツが驚くほどきれいになって返ってきたと書いてありました。

そして最後に、「自分だけでは、クリーニングに出す」という発想にまったくならなかったとも書かれていました。

ここで言いたいのは、「クリーニングの方がすごいでしょ」ということではありませぬ。問題なのは、服は自分で洗うもの、洗っても落ちなければ捨てるしかない、そんな前提の中で、クリーニングに出すという発想自体が選択肢にないということなんです。

つまり、クリーニングが利用されないのは、価格や品質の問題以前に、「存在を認識されていない」ということです。

「クリーニングが利用されないのは、価格や品質の問題以前に、存在を認識されていない」ということです。

洗濯王子オンラインミーティング 6 2025年の繁忙期を振り返る

本紙連載中の中村祐一氏がクリーニング師有志と共同でクリーニング業の現状と未来への展望を語り合うオンライン座談会「オンライン クリーニング ミーティング」の第6回を開催する。

参加対象は、クリーニング業者、資材機材商社、クリーニング店に勤めるパート従業員等々、クリーニング業関係者であれば誰でも可能。クリーニング業の未来のために、現状を正しく認識し、前向きな話し合いや意見交換を考えている。

今回のテーマは「2025年の繁忙期を振り返る」。

開催日時は6月26日(木)20時~22時。Zoomを使用したオンラインで行う。参加費無料。

今年の繁忙期の結果が出はじめ、業界全体としては良くて去年と同じくらい、多くは5%ほどのダウンとニックリ紙面でも報じられた。値上げの影響や点数の減少を考えると、かなり厳しい数字と言わざるを得ない繁忙期となっているが、この状況を受け「生き残りをかけて」といった話ではなく、あくまで、需要をつくり未来をつくるために、今年の繁忙期の振り返りを参加者で行いたいとの考え。

問い合わせや参加希望は メール:contact@sentaku-yuichi.comまたは、TEL090・6549・9170 中村氏まで。

「売れる」「売れない」紙一重

第43回

先日コンサルティングを受けて成長したと思うことがありました。

お客様から「1カ月以上経つけど、まだ仕上がらないのか？」と問い合わせがあったんです。割引条件として2カ月納期

クレーム対応の本質



「クレーム対応の本質」です。クレーム対応の本質は、お客様が「売れない紙一重」であることにあります。

クレーム対応の本質は、お客様が「売れない紙一重」であることにあります。

「クレーム対応の本質」です。クレーム対応の本質は、お客様が「売れない紙一重」であることにあります。

クレーム対応の本質は、お客様が「売れない紙一重」であることにあります。

北九州活性化へ スポンサー契約 キューセン



「ボルックバレット」は北九州市をホームタウンに活動中。クラブウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

チームウェアは同社が得意とする事業の1つ。幅広いサイズ、カラーに対応し、チームウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

「ボルックバレット」は北九州市をホームタウンに活動中。クラブウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

チームウェアは同社が得意とする事業の1つ。幅広いサイズ、カラーに対応し、チームウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。



洗濯代行FC募集

また同社は「しろふわ便」が得意とする事業の1つ。幅広いサイズ、カラーに対応し、チームウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

「しろふわ便」は月額制サブスタック型洗濯サービス。幅広いサイズ、カラーに対応し、チームウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

また同社は「しろふわ便」が得意とする事業の1つ。幅広いサイズ、カラーに対応し、チームウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

便むろろ宿泊施設向けに洗濯代行 インバウンド需要等に対応

洗濯代行&宅配クリーニング「しろふわ便」を運営するJ&Jカンパニー(株)(東京都渋谷区、大橋淳社長)は、インバウンド観光客や長期滞在者向けのランドリー需要に対応するホテル・宿泊施設向けの新サービスを開始した。多言語対応の説明チラシと専用袋を施設に提供し、宿泊者が洗濯物を入れてフロントに預けることで、指定時間にしろふわ便が回収洗濯・お届けを一括して行う。専用袋は中が見えにくい半透明タイプで、容量は45L(7~9kg)。Tシャツ・下着・フェイスタオルなど4~5日分(1人分)が入る。施設側でまとめて管理することで施設のオペレーションも容易だとしている。

同社によると、洗濯代行はこれまでエアビアーランドビアーなどの民泊を中心に利用が広がっていたが、最近ではホテル・宿泊施設からの問い合わせも急増しており、個別ランドリーサービスは、選択肢から必須サービスへと変化しつつあるという。

「しろふわ便」は月額制サブスタック型洗濯サービス。幅広いサイズ、カラーに対応し、チームウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

また同社は「しろふわ便」が得意とする事業の1つ。幅広いサイズ、カラーに対応し、チームウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

「しろふわ便」は月額制サブスタック型洗濯サービス。幅広いサイズ、カラーに対応し、チームウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

また同社は「しろふわ便」が得意とする事業の1つ。幅広いサイズ、カラーに対応し、チームウェアは10枚から作成可能とフラットワークが軽い。

保管サービス 環境変化に対応 法人プラン好調

「保管場所の不足」などが顕在化しているとの話で、それらのニーズから幅広い業界で利用が進み、法人保管アイテムの総数は6万点を超える状況とのことだ。

導入業界は、エンタメ関連からアパレル、IT、不動産など多岐にわたり、業務効率化、コスト削減など柔軟に対応できるとの評価を得ているようだ。法人向けプランではボックス単位だけでなく、スペースで預けるプランを用意している。